



CIRのつぶやき



国際理解教育・国際交流・
国際協力・国際観光・多文化・
相互理解と友好を図る

Facebook page :
滝川市国際交流員/Takikawa CIRs

いいね!
押してね😊

2021.06.01 第14号 世界有数の恐竜化石の産地「モンゴルのゴビ砂漠」

サイン・バイノー！（こんにちは）
モンゴル出身のCIRボロルです。
皆さん、モンゴルは世界有数の恐竜化石
の産地であることはご存じですか？

モンゴルは、北アメリカ、中国となら
ぶ世界有数の恐竜化石産地です。モンゴ
ルのゴビ砂漠は、サハラ砂漠、タクラマ
カン砂漠、リビア砂漠に続いて世界で第
4位の大きさを誇る砂漠で、国土の約
30%を占めています。ゴビ砂漠は、砂漠
だけではなく、草原や森もあるため様々
な動植物が生息しています。まるで星が
落ちてきそうな星空など美しい景色が魅
力です。

ちなみに春先に日本に黄砂として飛ん
でくる砂はゴビ砂漠からの砂もあります。
日本では厄介ものとされる黄砂ですが、
はるか遠くモンゴルの砂漠から巻き上げ
られた砂が気流に乗って日本まで運ばれ
てくるなんて、ロマンを感じますよね🌐
ゴビ砂漠はフタコブラクダの生息地です。



モンゴルのゴビ砂漠で撮った写真です。ラクダに
乗ってゴビ砂漠を走るの最高ですよ！皆さんもモ
ンゴルに行くことがあれば是非乗ってみてください。
今までにない不思議な感覚を感じると思います。

モンゴルでは、「ラクダに乗ったら太陽が近い」
という言葉があります。確かに、お日様が近くて手
を延ばせば届きそうな感覚でした。

ラクダに乗りながら砂漠を眺めると、かつてこの場所がシルクロード
の拠点として様々な民族が行き来していた映画に出るような古代の風景
が頭に浮かんでくるかもね😊

モンゴルのゴビ砂漠



Photo by Bororu



Photo by Bororu



CIRのつぶやき



2021.06.01 第14号 世界有数の恐竜化石の産地「モンゴルのゴビ砂漠」



恐竜の卵



喧嘩恐竜化石

ボロルが中学生の頃、モンゴルの自然史博物館を見学していた際に一番印象に残った展示は、こちらの喧嘩したままで化石になった恐竜化石でした。

モンゴルの白亜紀の地層から発見された恐竜化石の種類は全部で48属と言われ、そのうち肉食恐竜は20属を数え、他の産地とくらべても多く、特に他の産地ではあまり発見されない小型の肉食恐竜が豊富です。さらにモンゴルからはいろいろな卵の化石も産し、珍しいところでは恐竜の皮膚の化石もしばしば発見されます。モンゴルでの恐竜化石の最初の発見は、1922年に人類の先祖の化石を求めてゴビ砂漠に入ったアメリカ自然史博物館の探検隊で、1930年までに5回の探検を行い、世界最大の恐竜化石の宝庫を発見しました。

最近では日本やアメリカ、中国などと共同したモンゴルの調査隊によって恐竜の発掘が行われているそうです。



ショッピングモールに迫力ある骨格標本！

これは、モンゴルの一般的なショッピングモールに展示されている等身大の全身骨格標本です。展示されているのは、草食恐竜のサウロロフス、首長竜で知られるオピストコエリカウディア、肉食恐竜タルボサウルスの3体です。いずれも世界有数の恐竜化石の産地であるモンゴルの南ゴビから運ばれたものです。近代的なショッピングモールで買い物しながら、等身大の骨格標本を鑑賞できるなんて、すごいと思いませんか？